

ASUKA

KASHIHARA

TAKATORI

橿原市

明日香村

高取町

日本国創成のとき ～飛鳥を翔た女性たち～

日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この時代を牽引したのは女性であった。
新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度の整備が実現、政治・文化・宗教の各方面で
我が国の新しい“かたち”を産み出し、成熟させてきたのもまた“女性”であった。

日本遺産認定記念シンポジウム・パネル展

平成28年

3/13日 日

無料
450名

14:00～16:00(開場13:00)

高取町リベルテホール

高市郡高取町観覧寺1023

同時開催

ロビーにて、
日本遺産認定記念
パネル展を開催



近鉄吉野線 壺阪山駅より徒歩約10分。
※駐車場に限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

※主催者あいさつ

※第1部 14:05-14:35

記念コンサート

「愛を歌う一男から女へ、女から男へ」

〔出演〕万葉オペラ・ラボスタジオ

〔演目〕日本国創成のとき～歴史の声を聞く～

休憩(10分)

※第2部 14:45-16:00

座談会「飛鳥を翔た女性たち」

上野 誠(奈良大学教授)

里中満智子(マンガ家)

吉川友子(なら100年会館 館長)

※都合により、内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主催:日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会

申込締切

平成28年2月26日(17時以前に到着分まで)

申込方法

参加可能な方に
入場証を発送します。

氏名、住所、年令、入場希望人数(5名まで)

電話番号をご記入のうえ

ハガキ、メールのどちらかの方法でお申し込みください。

問合せ先

高取町教育委員会事務局 シンポジウム係 TEL. 0744-52-3715

●ハガキの送り先

〒635-0154 高市郡高取町観覧寺1023
高取町教育委員会事務局 シンポジウム係

●メールの送り先

nihonisan@naraken.com

●WEBフォームより

<https://event.nara.jp/nihonisan2016/>



Profile

上野 誠氏

奈良大学教授



1960年、福岡生まれ。国学院大学大学院文学研究科博士課程満期退学。博士(文学)。奈良大学文学部教授。国際日本文化研究センター客員教授。第12回日本民俗学

会研究奨励賞、第15回上代文学会賞、第7回角川財団学芸賞受賞。『古代日本の文芸空間』(雄山閣出版)、『万葉体感紀行』(小学館)、『大和三山の古代』(講談社現代新書)、『魂の古代学—問いつづける折口信夫』(新潮選書)、『万葉挽歌のこころ—夢と死の古代学』(角川学芸出版)など著書多数。

万葉文化論の立場から、歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提案。近年執筆したオペラの脚本も好評を博している。

里中満智子氏

マンガ家



1948年大阪生まれ。16歳のとき『ピアの肖像』で第1回講談社新人漫画賞を受賞。少女マンガ家として『あした輝く』『アリエスの乙女たち』『海のオーロラ』『あすなろ坂』

など多数のヒット作を生む。大阪芸術大学キャラクター造形学科教授、公益社団法人日本漫画家協会常務理事など多方面で活躍。

歴史を扱った作品も多く、十代の頃より憧れていたという『万葉集』の世界をもとに、持統天皇を主人公とした『天上の虹』は32年かけて2015年3月に完結した。

登場人物一人ひとりの心の葛藤を丁寧に描くことに定評がある。

現在、創作活動以外にも各方面の活動に携わり、その責を全うしている。

吉川友子氏

なら100年会館 館長



大阪芸術大学演奏学科ピアノ専攻卒業。神戸大学大学院教育学研究科(音楽)修了。教育学修士。平成15年からなら100年会館においてオリジナル『能に倣う〜善財

童子〜』の制作はじめ、子どものための能楽事業等を担当。また万葉オペラ・ラボ公演、『はじめてクラシック!』シリーズ、奈良の社寺や町屋でのアウトリーチ事業等多数プロデュース。

現在は一般財団法人奈良市総合財団文化事業グループ長、なら100年会館館長、万葉オペラの芸術監督、大阪市立文化施設の指定管理予定者選定委員会委員、全国公立文化施設協議会近畿支部委員等を務める。

万葉オペラ・ラボスタジオ



万葉オペラ・ラボ事業は、奈良市の公共施設である“なら100年会館”において、オペラの研鑽を積みながら奈良の芸術・文化・歴史の魅力を探索し発信する事業として、平成23年春にスタートしました。オペラのソリストを目指し専門的に学ぶ学生や若手演奏家による『ラボスタジオ』、小学生から中学生までのこどもたちによる『ラボキッズ』、歌の好きな市民による『ラボフレンズ』の3つのグループから構成され、活動を続けています。今日参加しているスタジオメンバーは、今年10月1日、2日になら100年会館で開催される「東アジア文化事業2016奈良市」の基幹事業である万葉オペラ「遣唐使物語—名も無き民へのオマージュ」にも出演します。

日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～

「日本遺産(Japan Heritage)」とは?

平成27年度に文化庁が新たに創設したもので、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定します。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

橿原市・高取町・明日香村が、日本遺産に認定されたストーリーは、女性たちが活躍した軌跡で語る飛鳥時代の新たな物語「日本国創成のとき～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～」。今後、関連する文化財等を中心に情報発信、普及啓発に取り組み、郷土に対する誇りと愛着を醸成するとともに、観光や地域の魅力を高め、国際的に飛鳥の知名度の向上を図ります。

